

ふれあいネットワーク

社会福祉協議会だより 夢ふうせん

第103号

2014年6月

社会福祉法人
下市町社会福祉協議会
下市町ボランティアセンター
下市町大字善城 140 番地 1
TEL 52-6125

子どもたちを地域で守ろう！ 下市小学校新1年生21名 ランドセルカバー＆防犯ブザー贈呈式



ぼくたちわたしたち
交通ルールを守り、
元気に登校します。

4月17日、下市小学校新1年生21名に、下市町善意銀行（川岸頭取）より反射材付きランドセルカバーを下市町民生児童委員協議会（磯矢会長）より防犯ブザーをまた、吉野警察署池口生活安全課長より、安全グッズをそれぞれ、贈られました。

川岸頭取は、「地域の皆さんから頂いた、善意のお金から購入しました。ランドセルにつけて、登下校の時は、車に気をつけ、先生やお家の人の言うことを守って元気に学校生活を送って下さい」と挨拶され、磯矢会長は、「このブザーはみんなを危険から守ってくれます。知らない人に声を掛けられ、連れて行かれそうになった時にならすと、近くにいる人に知らせてくれます。いつもは、ランドセルに付けて、遊びでは絶対にならさないで下さい。」と話されました。

大西校長先生からは、「ランドセルカバーや防犯ブザー、そして警察さんから頂いた安全ワッペン、皆さんを危険から守ってくれる物です。元気に、安全に学校生活ができるように皆さんは、地域の皆さんに守られています。感謝の気持ちを込めてありがとうございます。挨拶をしましょう」と話され、21名の新入児童は、大きな声で「ありがとうございます」と挨拶しました。

高齢者が住み慣れた地域で 安心して暮らし続けることができるために！

身近な地域の人々との交流や関係団体、関係機関等の声かけや、訪問などによる日常の安否確認等を通じて、できるだけ早期に問題を発見し、必要な支援等を迅速かつ効果的に行っていくことが求められています。

例えば：

◆地域の住民や関係団体、見守り協力機関などが、高齢者に対して行う声かけや訪問などの「さりげない見守り」「無理がない見守り」を通じて、高齢者の安否確認を行う。

↓このような取組により、地域から高齢者が孤立する状態を防ぐことができます。

◆地域の住民や関係団体、見守り協力機関などが、地域の高齢者の様子から「最近元気がないので心配」「新聞がたまっているの、家で何か異変が起きているのでは？」などのちょっとした変化を、社会福祉協議会や民生委員や地域包括支援センターなどの関係機関へ連絡する。

↓このような取組により、問題の早期発見、高齢者への支援等を迅速かつ効果的に行うことができます。

私達の町下市町では、自治会・民生児童委員・地域ボランティア・老人クラブ連合会など、その他関係機関による、高齢者の見守り・訪問活動等が、行なわれていることと思います。

しかし、高齢者世帯の増加・ひとり暮らし世帯など、いつも不安と隣り合わせの生活をしている方が年々増加し続けています。

そこで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、住民ひとり一人が、高齢者世帯やひとり暮らし世帯に、目を向け、親しき友人の一人として、「声かけ」「見守り」をしよつとする意識を高め、少しでも異変に気づいたら、関係機関に連絡するという行動を起こすことが問題の早期発見につながります。

高齢者に関することのお問合せ

- ☆下市町役場健康福祉課
 - ☆地域包括支援センター
☎52-0001
 - ☆下市町社会福祉協議会
☎52-6125
 - ☆地区担当の民生児童委員
- 詳しくは
下市町社会福祉協議会
までお問合せ下さい。



地域で見守り「友愛活動」

阿知賀 楽寿会女性部

5月19日、阿知賀コミュニティーセンターにおいて、阿知賀楽寿会女性部の皆さんが、「ホウ酸だんご作り」をしました。

地域で高齢者が楽しく集い、それぞれの得意分野を活かし、生き甲斐づくりを目的に開催しています。

この日は、ゴキブリ駆除に役立つホウ酸だんごを手際よく作り、その後、茶話会で楽しみました。出来上がったホウ酸だんごを持ちかえり、高齢者世帯やひとり暮らし高齢者の見守りを兼ねてお届けすることになっています。

このように地域で高齢者が生き生きと生活し、互いに見守り、声かけあいながら、いつまでも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを願っています。

下市町老人クラブ連合会では、平成26年度から2年間高齢者相互支援モデル地区の指定を受け、町内老人クラブ会員の皆さんの相互支援を目的とする活動を推進していききたいと思います。

「見守り支援」「声かけ」にご協力お願いします

老人クラブ事務局 ☎52-6125



玉ねぎと牛乳をミキサーにかけます



ホウ酸だんご材料

次回は、楽しい歌・踊り等を計画しています
阿知賀楽寿会女性部

おたのしみ会

5月14日、小学生対象の「おたのしみ会」を開催しました。新学年になって初めての「おたのしみ会」です。遠足を二日後に控えた子どもたちからは、楽しみにしている様子が伝わり「おたのしみ会」も終始ニコニコ顔でした。

この日は子どもたちに人気のある「億万長者ゲーム」をしました。ジャンケンで勝った子が相手からお金をもらえるとあって、みな真剣にジャンケンをしていました。億万長者になった人にはお菓子のプレゼントがありました。

また、下市おはなしの会さんの紙芝居や手話サークルせせらぎさんのミニ手話講座がありました。い放課後を過ごしました。



手話であいさつができるようになったよ



いくら（お金）わたそうかな



楽しかったよ！

平成26年度

「おたのしみ会」予定

7月・9月・11月・1月・3月

第2水曜日開催

（行事等により変更することがあります。）

英語であそぼう

毎月第3木曜日午前10時～

5月15日、未就園児対象の「英語であそぼう」を開催しました。今回は11組23人の親子さんが参加してください、とても楽しく盛り上がりました。

「Good morning!」ミシェル先生とサフィア先生の挨拶にみんなも「Good morning!」と元気いっぱいに答えてくれます。色のカードや数のカードを使ったり、リズム遊びやゲームなども毎回楽しく、あそびながら自然と英語に触れることができ楽しいひとときをすごしました。



～子育て支援センターよりお知らせ～

「乳幼児のケガと病気の対処法」の講習会開催

6月20日（金）10時～

下市消防署員による子育てママに聞いてほしいお話です。
参加希望の方は下記までお申し込みください。

「春のおさがり交換会」を開催します。

6月19日（木）～20日（金）

詳しくは子育て支援センターにお問い合わせください。

下市テレビの文字放送や下市町のfacebookでも紹介しています。どうぞ、ご覧下さい。

問い合わせ：下市町子育て支援センター・54-3810



心のふれあいボランティア

第35回
おたのしみ会

あきつボランティアグループ

平成26年5月23日 下市観光文化センター



およねのぼやきで会場大爆笑！

あきつボランティアグループでは、そよ風荘への訪問、すぎの子苑のお手伝い、町内の70才以上の1人暮らしの方への友愛訪問を行っています。

そしてもう一つ大きな行事としては年一回開催しております。おたのしみ会は、沢山の方々にご来場いただき、歌や踊り、芝居等で一日過ごしていただきました。色々させて頂いているボランティアグループですが、会員数も減ってきており、一緒に活動して下さる方を募っておりますので、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、毎年ご協力頂いております、民生児童委員協議会、町老人クラブ連合会、下市町社会福祉協議会の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

あきつボランティアグループ
代表 杵本 規子



南国ムードでアロハ♪



杵本町長
「僕の胸でおやすみ」熱唱



東京音頭で景気よくオープニング



会場の皆さんと一緒に頭と指の体操



寸劇「ごんたくん誕生物語」